



# みんなのデータサイト 2023キノコ測定プロジェクト 測定結果のまとめ

みんなのデータサイト旬のものプロジェクトチーム  
大沼章子 (C-ラボ)

●当プロジェクトは、JIM-NET（2023年度）から寄付をいただき実施しました

## はじめに

みんなのデータサイトは、東京電力福島第一原子力発電所事故後、全国の放射能測定室（現在24測定室）で測定された食品・土壌・その他環境試料中の放射性セシウムの測定結果を、ウェブサイト「みんなのデータサイト」（<https://minnanods.net/>）で公開し、検索も可能にしています。

特に土壌については、東日本17都県土壌ベクレル測定プロジェクトの結果をまとめ『図説・17都県放射能測定マップ+読み解き集（現在は増補版）』として発行。測定結果の解説などを詳しくお知らせしています。

食品については、一般食品に比べて**山野の食材の放射能濃度が高い状況にある**ことから、その実態を明らかにし、無用な被ばくを避けるため、山野の食品について旬のものの測定プロジェクトに取り組んできました。

2014年春 「しいたけ・たけのこ広範囲測定プロジェクト」

2019年春 「全国たけのこ測定プロジェクト」

2020年秋 「ネット購入キノコ測定プロジェクト」

2021年以降 毎年継続的に取り組む

春は「タケノコ・山菜測定プロジェクト」

秋は「キノコ測定プロジェクト」

福島原発事故から12年目の2023年秋も、キノコの山野の汚染状況を明らかにするために、「2023キノコ測定プロジェクト」に取り組みましたので、測定結果を報告します。

## みんなのデータサイト 2023キノコ測定プロジェクト 実施計画の概要

期間：2023年6～11月

調査対象：放射能汚染地に指定された17都県（＊）に生育する野生キノコ

（＊）青森県・岩手県・秋田県・宮城県・山形県・福島県・茨城県・栃木県・群馬県  
・新潟県・埼玉県・山梨県・東京都・千葉県・神奈川県・長野県・静岡県

試料採取：ネット購入、店頭購入、自家採取や縁故によって採取。

なお、各地のキノコ同好会の皆さんのご協力もお願いしましたが、

残念ながら、2023年は天候の影響で採取が困難だったという結果に終わってしまいました。

参加測定室と放射性セシウム測定装置（6測定室）：

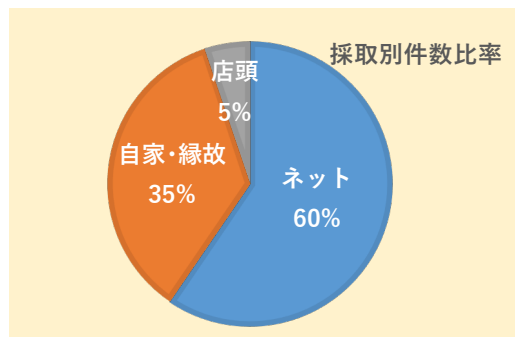
- ・ 那須希望の砦：ATOMTEX社製AT1320A
- ・ 未来につなげる・東海ネット 市民放射能測定センター（C-ラボ）：日立ALOKA社製 CAN-OSP-NAI
- ・ 日本チェルノブイリ連帯基金-Teamめとば：日立ALOKA社製 CAN-OSP-NAI
- ・ はかるなら（奈良・市民放射能測定所）：ATOMTEX社製AT1320A
- ・ 阪神・市民放射能測定所：非電化工房製 CSK3i
- ・ 認定NPO法人ふくしま30年プロジェクト：ゲルマニウム半導体検出器核種分析装置 PGT社製 IGC21

## みんなのデータサイト 2023キノコ測定プロジェクト 調査実施の概要

- ・ 調査期間：2023年6～11月（1～5月採取のものも含めて解析）
- ・ 調査地域：17都県のうち埼玉県・神奈川県を除いた以下の15都県  
青森県・岩手県・秋田県・宮城県・山形県・福島県・茨城県・栃木県・群馬県  
・ 東京都・埼玉県・山梨県・千葉県・新潟県・静岡県・長野県
- ・ 調査キノコと件数：名称の明らかなキノコは36品目、雑キノコ2件を含めて測定件数は79件
- ・ 乾燥キノコの濃度表示：79件のうち5件が乾燥キノコであったため、厚生労働省が示す重量変化率（\*）にしたがって生重量あたりの濃度に換算した値（生換算値）としました。  
\*：食安基発0315第7号2012年3月15日「食品中の放射性物質の試験法の取扱いについて」  
[https://www.mhlw.go.jp/shinsai\\_jouhou/dl/shikenhou\\_120319.pdf](https://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/dl/shikenhou_120319.pdf)
- ・ 検出下限値：検出器の種類・性能・設置場所の環境など測定装置ごとに異なり、キノコの供試量や測定時間によって異なります。検出下限値未満は、表記・統計処理ともに数値を「0」として処理しました。セシウム-137の検出下限値は0.3～28.5 Bq/kgの範囲でした。

みんなのデータサイト 2023測定キノコプロジェクト  
試料の採取（入手）方法

採取方法	件数	比率（%）
ネット	47	60
自家・縁故	28	35
店頭	4	5
全体	79	100



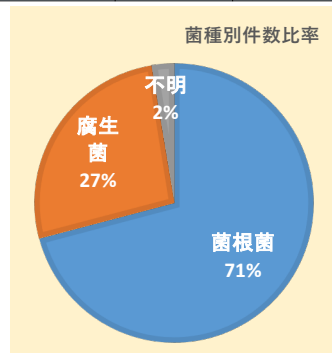
採取したキノコは全て山野に生育する野生キノコ79件で、ネット購入品が47件（60%）、自家・縁故品が28件（35%）、そして、道の駅・スーパー等の店頭購入品が4件（5%）でした。

みんなのデータサイト 2023測定キノコプロジェクト  
野生キノコの菌種別放射性セシウム濃度測定結果

菌種	件数	検出件数	検出 件数率 (%) *1	最小値 (Bq/kg) *2	最大値 (Bq/kg)	中央値 (Bq/kg)	食品基準 超過件数	食品基準 超過率 (%)
菌根菌 *3	56	45	80	0.0	991	10.2	17	30
腐生菌*4	21	12	57	0.0	21	1.7	0	0
不明 *5	2	1	50	0.0	21	10.7	0	0
全体	79	58	73	0.0	991	6.2	17	22

- \*1 検出下限値以上の濃度（最小値は0.3 Bq/kg）を示す検出件数の百分率
- \*2 検出下限値未滿は「0」とした。
- \*3 菌根菌のうち4件の乾燥キノコは生換算値を用いた。
- \*4 腐生菌のうち1件の乾燥キノコは生換算値を用いた。
- \*5 雑キノコで菌種不明

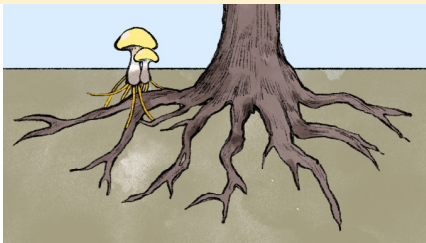
キノコの測定件数は79件で、58件（73％）に放射性セシウムが検出されました。そのうち、食品基準値を超えたキノコは17件（22％）でした。キノコを菌種別に分類すると、菌根菌が56件（71％）、腐生菌が21件（27％）、雑キノコで菌種不明が2件（2％）でした。菌種別の基準値超過は、菌根菌のみ17件（30％）に見られましたが、腐生菌に基準値超過はありませんでした。菌根菌の方が腐生菌より放射性セシウム濃度が高い傾向にあることは2020年以降のプロジェクトと同様の傾向でした。



(参考) なぜ、菌根菌の方が腐生菌より、放射性セシウムが高い傾向にあるのでしょうか？  
答えは、その生息状況の違いにあります。

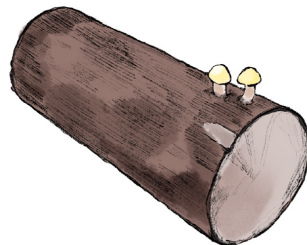
## 菌根菌とは

生きた植物と共生関係を築いて生活している菌で、菌糸を土の中に張り巡らせ、植物の細根部に共生して菌根をつくります。菌類(きのこ)はチッ素やリン、カリウムなどの無機養分や水を吸収し、自ら利用するとともに菌根(植物の根と菌類が作る共生体)を介して植物にもそれらを届けます。一方、植物は光合成でつくった糖類などを菌類に与えます。



## 腐生菌とは

落ち葉や倒木、切り株などに生える菌で、セルロースやリグニンなどの植物体を構成する有機物素材を分解し、栄養分として利用します。腐生菌の生育によって分解された倒木や落ち葉は朽ちて、土へ還っていきます。



出典:農水省「きのこの生態と豆知識」([https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2110/spe1\\_01.html](https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2110/spe1_01.html))

みんなのデータサイト  
2023キノコ測定プロジェクト  
野生キノコの  
放射性セシウム濃度

名称の明らかなキノコは36品目で、雑キノコを含めて測定件数は79件でした。最大値はチチタケの991 Bq/kgで、その他、ハナイグチ・コウタケ・アカヤマドリタケ・クロカワ、サクラシメジ・タマゴタケ・ヌメリササタケ・ショウゲンジに基準値超えがありました。基準値を超えたキノコは全て菌根菌でした。

\*1 検出下限値未満は「0」とした。

\*2 内1件は乾燥品で生換算値で処理

\*3 内3件は乾燥品で生換算値で処理

\*4 内1件は乾燥品で生換算値で処理

\*5 件数「1」の菌根菌をまとめた。

\*6 件数「1」の腐生菌をまとめた

なお、表は測定件数の多いものから記載。件数「1」のキノコの放射性セシウム濃度は中央値欄に示した。

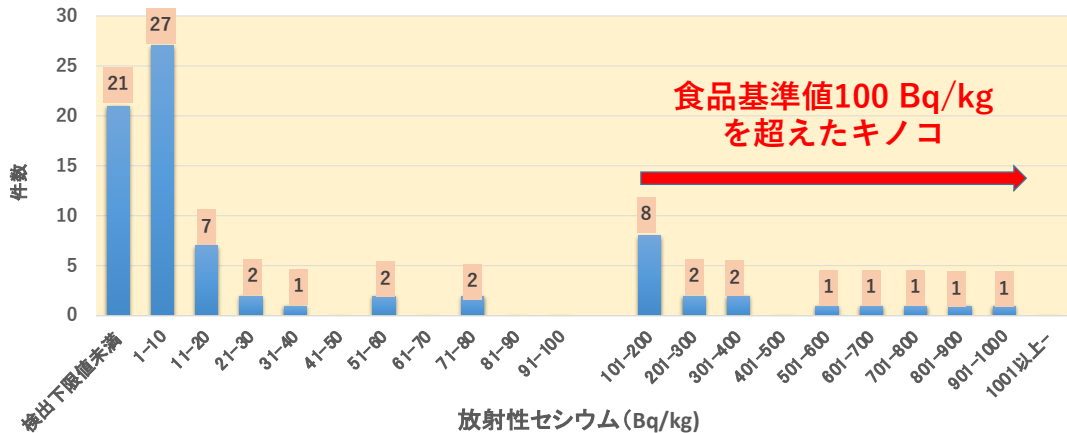
名称	種類	件数	採取法			放射性セシウム(Bq/kg)*1			食品基準	食品基準
			ネット	自家・縁故	店頭	最小値	最大値	中央値	超過件数	超過率(%)
チチタケ *2	菌根菌	10	5	5	0	0.0	991	175	7	70
ハナイグチ	菌根菌	8	3	5	0	0.0	326	4.6	1	13
コウタケ *3	菌根菌	5	5	0	0	54.7	258	70.3	2	40
ムキタケ	腐生菌	4	4	0	0	4.1	10.2	5.6	0	0
アカヤマドリタケ	菌根菌	3	2	1	0	7.6	724	116	2	67
クロカワ	菌根菌	3	3	0	0	10.9	204	11.2	1	33
マスタケ	腐生菌	3	0	3	0	0.0	20.8	13.0	0	0
ナメコ	腐生菌	3	3	0	0	0.0	1.1	0.0	0	0
サクラシメジ	菌根菌	2	0	1	1	9.4	335	172	1	50
タマゴタケ	菌根菌	2	1	1	0	5.5	196	101	1	50
ウラベニホテイシメジ	菌根菌	2	2	0	0	3.6	72.9	38.2	0	0
アミタケ	菌根菌	2	1	0	1	0.0	31.4	15.7	0	0
ヤマドリタケモドキ	菌根菌	2	2	0	0	5.1	11.8	8.4	0	0
オオイチョウタケ	菌根菌	2	0	2	0	0.0	11.6	5.8	0	0
ホンシメジ	菌根菌	2	2	0	0	3.5	6.2	4.8	0	0
ナラタケ	腐生菌	2	2	0	0	0.0	3.5	1.7	0	0
キクラゲ *4	腐生菌	2	0	0	2	0.0	1.7	0.9	0	0
クリタケ	腐生菌	2	2	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0
ヌメリササタケ	菌根菌	1	0	1	0	—	—	191	1	100
ショウゲンジ	菌根菌	1	1	0	0	—	—	155	1	100
単品測定菌根菌 *5	菌根菌	11	6	5	0	0.0	8.8	3.3	0	0
単品測定腐生菌 *6	腐生菌	5	3	2	0	0.0	15.1	2.0	0	0
雑キノコ	不明	2	0	2	0	0	21.3	2.6	0	0
全体		79	47	28	4	0	991	6.2	17	22

\*5：アカハツタケ、ウスムラサキホウキタケ、オオザラミノシメジ、カワリハツ、クリフーセンタケ、クロアワタケ、コガネタケ、センボンシメジ、ニガイグチモドキ、ハナピラタケ、ハツタケ、計11件

\*6：ナラタケモドキ、ハタケシメジ、ブナハリタケ、マイタケ、ムラサキシメジ、計5件



## みんなのデータサイト 2023測定キノコプロジェクト 野生キノコの放射性セシウムの濃度分布図



放射性セシウム濃度が検出下限値 (0.3~28.5 Bq/kg)以上のキノコは58件で、うち17件は食品基準値を超えています。現在は、放射性セシウムのうち半減期の短いセシウム-134が事故直後の百分の2まで減少しています。セシウム-134が検出された12件は全て食品基準値超過品で、明らかに福島原発事故の影響を受けているといえます。半減期の長いセシウム-137が検出されたキノコには、福島原発事故の影響と共に、過去の大気圏内核実験の影響も含まれていると考えられます。

# みんなのデータサイト 2023キノコ測定プロジェクト 食品基準値を超えた野生キノコ一覧

食品基準値を超えたキノコは9品目・17件で、全て菌根菌でした。最大値は、福島県耶麻郡北塩原村のチチタケで、991 Bq/kgでした。ここでは、採取地について出荷制限の有無を確認しました。

○：出荷規制有り

X：出荷規制無し

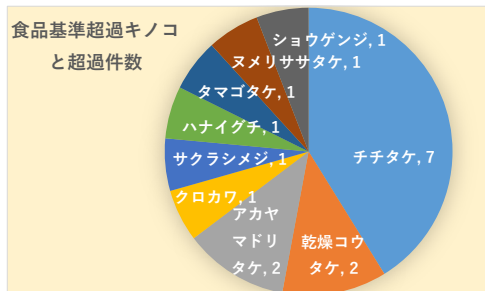
?：採取地が県名までで出荷規制の確認不可

縁故品10件は全て出荷規制有りの地域のもので、汚染状況の確認のための採取と考えられました。ネット購入品には出荷制限無しの地域のもので4件、採取地が県名までしか明らかでないため出荷制限の有無の確認が出来ないものが3件ありました。なお、店頭購入品には食品基準値超過はありませんでした。

名称	採取法	採取地		放射性セシウム (Bq/kg)	菌種	出荷規制の確認
チチタケ	縁故	福島県	耶麻郡北塩原村	991	菌根菌	○
チチタケ	縁故	福島県	耶麻郡北塩原村	869	菌根菌	○
アカヤマドリタケ	縁故	栃木県	日光市	724	菌根菌	○
チチタケ	縁故	栃木県	那須塩原市	610	菌根菌	○
チチタケ	縁故	福島県	耶麻郡北塩原村	575	菌根菌	○
サクラシメジ	縁故	栃木県	日光市	335	菌根菌	○
ハナイグチ	縁故	栃木県	日光市	326	菌根菌	○
乾燥コウタケ *1	ネット	千葉県		258	菌根菌	×
クロカワ	ネット	宮城県	白石市 *2	204	菌根菌	×
乾燥コウタケ *1	ネット	岩手県		199	菌根菌	?
タマゴタケ	縁故	栃木県	日光市	196	菌根菌	○
ヌメリササタケ	縁故	福島県	大沼郡昭和村	191	菌根菌	○
チチタケ	縁故	福島県	耶麻郡北塩原村	187	菌根菌	○
チチタケ	ネット	長野県	長野市 *2	162	菌根菌	×
ショウゲンジ	ネット	静岡県		155	菌根菌	?
チチタケ	ネット	岩手県		139	菌根菌	?
アカヤマドリタケ	ネット	山梨県	大月市 *2	116	菌根菌	×

\*1：乾燥キノコは生換算値を記載

\*2：食品基準値超過判明後の行政への届け出で、採取地の詳細が判明



みんなのデータサイト 2023キノコ測定プロジェクト  
**野生キノコの採取地別放射性セシウム濃度**

採取地	件数	検出件数	検出件数率 (%) *1	最小値 (Bq/kg) *2	最大値 (Bq/kg)	中央値 (Bq/kg)	食品基準 超過件数	食品基準 超過率 (%)
福島県	10	10	100	1.7	991	130	5	50
栃木県	10	8	80	0.0	724	106	5	50
千葉県	2	2	100	3.7	258	131	1	50
宮城県	3	2	67	0.0	204	7.9	1	33
岩手県	12	9	75	0.0	199	6.9	2	17
長野県	20	12	60	0.0	162	3.8	1	5
山梨県	3	3	100	5.1	116	5.5	1	33
静岡県	1	1	100	—	—	155	1	100
群馬県	2	2	100	20.8	21.3	21.1	0	0
青森県	6	3	50	0.0	15.6	0.6	0	0
東京都	1	1	100	—	—	11.8	0	0
秋田県	3	2	67	0.0	10.2	3.5	0	0
新潟県	1	1	100	—	—	6.2	0	0
茨城県	2	2	100	1.1	4.3	2.7	0	0
山形県	3	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0
全体	79	58	73	0.0	991	6.2	17	22

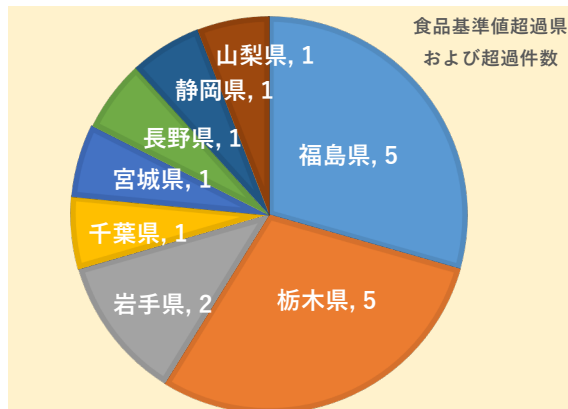
\*1 検出下限値以上の濃度（最小値は0.3 Bq/kg）を示す検出件数の百分率      \*2 検出下限値未満は「0」とした。  
 なお、表は最大値の大きいものから記載。件数「1」のキノコの放射性セシウム濃度は中央値欄に示した。

放射能汚染地に指定された17都県のうち、埼玉県・神奈川県を除く15都県のキノコを採取しました。そのうち山形県を除く14都県のキノコに放射性セシウムの検出がみられました。食品基準値を超えたキノコは、採取地が8県にわたり、全調査キノコの22%（17/79）でした。中央値での基準値超過は福島県、栃木県、千葉県でした。

みんなのデータサイト 2023キノコ測定プロジェクト  
**食品基準値を超えた野生キノコの採取地**

採取地	食品基準 超過件数	最大値 (Bq/kg)	中央値 (Bq/kg)
福島県	5	991	575
栃木県	5	724	335
岩手県	2	199	169
千葉県	1	—	258
宮城県	1	—	204
長野県	1	—	162
静岡県	1	—	155
山梨県	1	—	116
まとめ	17	991	204

\*表は超過件数の多い県から記載。件数「1」の場合、放射性セシウム濃度は中央値欄に示した。



食品基準値を超過したキノコは、採取地が8県にわたり、最大値は991 Bq/kgの福島県産でした。また、中央値は福島県575 Bq/kg、栃木県335 Bq/kgで高い傾向にあり、この他の県は、件数が少ないですが、低めの傾向にはありました。この傾向は、福島原発事故によって放出された放射性セシウムの土壌濃度の分布とおおよそ一致していました。

## 林野庁：きのこや山菜の出荷制限等の状況（2024年1月30日確認）

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/tokuyou/kinoko/syukkaseigen.html>

塗りつぶしは、「野生きのこに出荷制限あり」です。

<a href="#">青森県</a> （令和4年9月20日更新）	<a href="#">岩手県</a> （令和5年11月2日更新）*	<a href="#">宮城県</a> （令和5年10月10日更新）*	<a href="#">秋田県</a> （平成25年6月16日更新）
<a href="#">山形県</a> （令和4年7月4日更新）	<a href="#">福島県</a> （令和5年11月28日更新）*	<a href="#">茨城県</a> （令和5年3月8日更新）	<a href="#">栃木県</a> （令和5年11月28日更新）*
<a href="#">群馬県</a> （令和5年5月26日更新）	<a href="#">埼玉県</a> （平成24年11月21日更新）	<a href="#">千葉県</a> （平成29年2月15日更新）*	<a href="#">神奈川県</a> （平成30年3月28日更新）
<a href="#">新潟県</a> （令和元年7月5日更新）	<a href="#">山梨県</a> （平成24年10月26日更新）*	<a href="#">長野県</a> （令和2年6月18日更新）*	<a href="#">静岡県</a> （平成26年10月7日更新）*

\*2023キノコ測定プロジェクトで、食品基準値超過品があったことを示す。

なお、東京都はキノコや山菜に全て出荷制限がありません。



## 参考) 食品基準 値超過のあった 県の野生キノコ 出荷制限状況(2)



### 宮城県

きのこ(野生のもの)

地域	措置の状況	備考
仙台市	出荷制限	
気仙沼市	出荷制限	一部解除(宮城県のみ定める出荷・検査方針に基づき非破壊検査により基準値を下回ったマップタケに限る。)
栗原市	出荷制限	一部解除(宮城県のみ定める出荷・検査方針に基づき非破壊検査により基準値を下回ったのみならず、むきたけに限る。)
大崎市	出荷制限	一部解除(宮城県のみ定める出荷・検査方針に基づき非破壊検査により基準値を下回ったのみならず、むきたけに限る。)
豊浜市	出荷制限	
絆田町	出荷制限	
雫三陸町	出荷制限	



### 静岡県

きのこ(野生のもの)

地域	措置の状況	備考
小山町	出荷制限	
御殿場市	出荷制限	
富士市	出荷制限	
富士宮市	出荷制限	
裾野市	出荷制限	



### 長野県

きのこ(野生のもの)

地域	措置の状況	備考
軽井沢町	出荷制限	
駒代田町	出荷制限	
小海町	出荷制限	まっただけに限り解除
南牧村	出荷制限	まっただけに限り解除
佐久市	出荷制限	まっただけに限り解除
小川町	出荷制限	まっただけに限り解除
佐久穂町	出荷制限	まっただけに限り解除



### 山梨県

きのこ(野生のもの)

地域	措置の状況	備考
富士吉田市	出荷制限	
富士河口湖町	出荷制限	
滝沢村	出荷制限	

みんなのデータサイト 2023キノコ測定プロジェクト

## 食品基準値を超えたキノコの採取法と出荷規制との関連を見る

出荷規制の有無	ネット	自家・縁故	店頭	計
有	0	10	0	10
無	(1→) 4 *	0	0	4
不明	(6→) 3 *	0	0	3
合計	7	10	0	17

\* 食品基準値超過判明後の行政への訴えで、採取地の詳細が判明したため、数値変更

自家・縁故品は、出荷制限のある地域のキノコ10件で、いずれも、汚染状況確認のための測定と考えられました。出荷制限のない地域からのキノコは4件でした。いずれもネット購入品で、キノコの放射能汚染に対する出荷者や行政の対応の甘さが推測されました。また、ネット購入品で、採取地の市町村名が特定ができず、出荷制限等の確認ができなかったキノコ3件にも食品基準超過がありました。ネット購入の場合、出来るだけ産地情報の入手に努めましょう。



みんなのデータサイト 2023測定キノコプロジェクト  
**野生キノコの採取（入手）別放射性セシウム濃度測定結果**

菌種	件数	検出件数	検出件数率 (%) *1	最小値 (Bq/kg) *2	最大値 (Bq/kg)	中央値 (Bq/kg)	食品基準 超過件数	食品基準 超過率 (%)
ネット *3	47	35	74	0.0	258	5.4	7	15
自家・縁故*4	28	20	71	0.0	991	14.1	10	36
店頭	4	3	75	0.0	31	5.6	0	0
合計	79	58	73	0.0	991	6.2	17	22

- \*1 検出下限値以上の濃度（最小値は0.3 Bq/kg）を示す件数の百分率
- \*2 検出下限値未満は「0」とした。
- \*3 内4件の乾燥キノコは生換算値を用いた。
- \*4 内1件の乾燥キノコは生換算値を用いた。

キノコの採取件数は79件で、検出下限値以上の濃度を示した検出件数の百分率を見ると、ネット購入が74%（35/47）、自家・縁故品が71%（20/28）、店頭購入が75%（3/4）で、検出件数率には差がありませんでした。食品基準値の超過率は22%（17/79）でしたが、採取別の基準値超過率は、自家・縁故品が36%（10/28）で、ネット購入が15%（7/47）でした。店頭購入での食品基準超過はありませんでした。自家・縁故品は、汚染状況確認のための測定と考えられます。調査件数が少ないため明らかではありませんが、店頭購入が対面販売等売り手と買い手の顔が見える関係にあるのに対して、ネット購入は両者の顔が見えにくく放射能汚染に関する注意が怠りがちだと推測されました。

## 2023キノコ測定プロジェクト測定結果のまとめ(1)

- 1) 放射能汚染地に指定された17都県のうち、埼玉県・神奈川県を除く15都県の野生キノコを調査しました。その結果、14都県で放射性セシウムの検出がみられました。**食品基準値を超えるキノコが確認**されたのは、15都県のうち青森県・秋田県・山形県・新潟県・東京都・群馬県・茨城県を除く8県（**岩手県・宮城県・福島県・栃木県・千葉県・山梨県・静岡県・長野県**）でした。
- 2) 全測定キノコ79件のうち、放射性セシウムが検出されたのは73%で、食品基準値100 Bq/kgを超えたものは22%でした。**最大値は福島県耶麻郡北塩原村のチチタケで、991 Bq/kgでした。**他に、高い傾向にあったのは、**ハナイグチ・コウタケ・アカヤマドリタケ・クロカワ、サクラシメジ・タマゴタケ・ヌメリササタケ・ショウゲンジ**などでした。
- 3) キノコを菌種別にみると、71%が菌根菌、27%が腐生菌で、菌種不明が2%でした。**食品基準値を超えたキノコはすべて菌根菌で、放射性セシウム濃度が菌根菌に高いことは2020年以降のキノコ測定プロジェクトと同様の傾向**でした。なお、食品基準超過率も、2020年以降21%、23%、24%、22%で、ほぼ同水準で推移していました。

## 2023キノコ測定プロジェクト測定結果のまとめ(2)

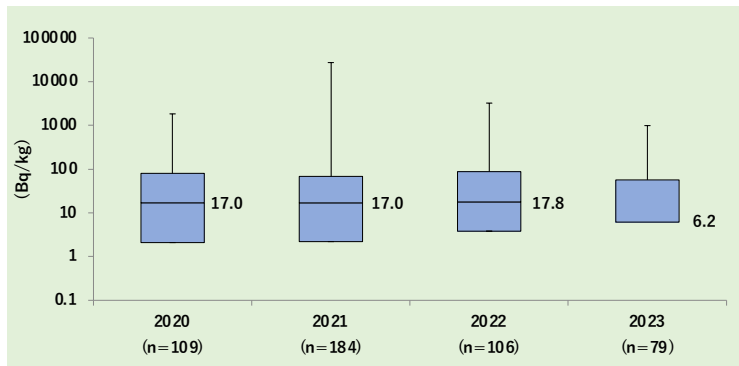
4) 食品基準値を超えたキノコのうち、出荷制限のない地域のキノコは4件でしたが、依然として、キノコの放射能汚染に対する出荷者や当該地域の行政の監視・対応の甘さが推測されました。

なお、昨年と同様に、今回も出荷制限のある地域からのネット購入品に食品基準値超過が確認されなかったという調査結果は、みんなのデータサイトのプロジェクト活動\*の成果があったのではないかと考えられます。

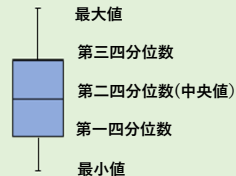
しかしながら、今回も出荷制限不明の地域のキノコが3件あり、いずれもネット購入品で採取地の特定が出来ませんでした。今後も、ネット購入品の放射性セシウム濃度には注意が必要です。

\*調査結果が食品基準値超えの場合は、当該測定室は所在する保健所に届け出て、当該産地の自治体の放射能監視・対応を促しています。その流れで、ネット主催者・出荷者、店舗・出荷者への注意喚起も行われます。

## みんなのデータサイトキノコ測定プロジェクト測定結果 放射性セシウム濃度経年推移



### \* 箱ひげ図の見方



四分位数とは、データを小さい順に並べて4等分した時の境界の数値。

検出下限値未満は「0」として処理しました。  
縦軸が対数表示のため、最小値「0」は表示出来ません。

なお、2023年の第一四分位数が「0」であったため、箱の下端が中央値です。

2020年から23年までの4年間の測定結果をグラフにしました。  
野生キノコの放射性セシウム濃度にほとんど変化がありません。  
2023年の中央値が若干低目ですが、統計的な有意差はありませんでした。

参考) 食品基準値を超過した検体の行政対応メモ：奈良・市民放射能測定所

ID	名称	放射性セシウム (Bq/kg)	採取地	対応行政部署	行政からの報告
118995	チチタケ	162	長野県産：長野市飯綱高原	長野県林務部信州の木活用課	飯綱高原でチチタケを採取し、測定したところ、Cs-137を53 Bq/kg検出した。基準値の1/2強を検出したので、県のHPで公表した。引き続き検査を強化する。
119045	ショウゲンジ	155	静岡県：採取地不明	静岡県経済産業部森林・林業局林業振興課	静岡県ではメルカリなどを通じて販売されているキノコについては、測定対象にしてこなかったが、今後はそういう物も対象にして測定することにした。
119040	アカヤマドリタケ	116	山梨県：大月市大峠付近	山梨県林政部林業振興課	大月市で採取した野生キノコ3検体の測定結果は、ハタケシメジ (Cs-137:7.51 Bq/kg)、ムキタケ (CS-137:10.7 Bq/kg)、ナラタケ (ND) であった。アカヤマドリタケは採取できなかったため、来年度の課題にしたい。
119058	チチタケ	139	岩手県：宮古市和井内雄鹿戸トンネル付近	岩手県環境生活部県民くらしの安全課	10月19日に県が現地調査を行ったが、採取場所と合わせ周辺地域では、チチタケおよび検体となる野生きのこは採取できなかった。なお、宮古市において実施したモニタリング調査では、同市のチチタケは基準値以下であった。(参考) R5モニタリング検査結果：タマゴタケ (<8.9 Bq/kg) 9/22 測定、オオイチョウタケ (<7.7 Bq/kg) 9/22 測定、チチタケ (12 Bq/kg) 10/5 測定
119178	クロカワ	204	宮城県：白石市	白石市林業振興課	白石市の測定の下限值は25 Bq/kgである。土壌や野生キノコの測定はしていない。 * 「てとと」の測定報告より白石市の土壌測定結果(八幡前：Cs-137:2850 Bq/kg、馬頭山：Cs-137:6700 Bq/kg)と販売者のニックネームを伝え、測定の必要性を訴えた。

## 最後に



野生キノコの放射性セシウム濃度は、半減期（2年）の短いセシウム-134が1%にまで物理的に減衰した後も、半減期（30年）の長いセシウム-137は事故による放出時の74%が環境中に残存し、とりわけ放射性プルームによって拡散したままの山野の放射能汚染状況を反映していました。

野生キノコは自然からの贈り物です。  
日本人はそんなキノコが大好きです。

売り手はもちろん、消費者も野生キノコの汚染状況には注意を払い、疑わしきは「測る」を基本にしてくださいと思います。無用な被ばくは避けましょう。

お近くの市民放射能測定所にご相談ください。